

ガイダンス時のアンケートにて頂いた ご意見と葛飾区の考え方

頂いたご意見に対する区のことを以下にお示します。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後の取組の参考にさせていただきます。

(1)「発災から避難・生活再開に向けて」の内容について

ご意見	葛飾区の考え方
<ul style="list-style-type: none"> •住居の近くに避難所となる学校があり良い環境に居ると思っているが、例えば都営住宅には多くの方が住んでおり、ご年配の方も多いため、現状の避難所のスペースだけでは手狭になると感じています。 •備蓄など満足にやっている人がどのくらいいるのか疑問。 	<p>(危機管理課より回答)</p> <p>大規模災害時(地震)において、区内の小中学校を次の生活の場所が見つかるまでの避難所として開設します。</p> <p>しかし、ご指摘の通り収容規模は1校あたり約1,000名程度で十分なスペースを確保することができません。避難者を受け入れきれない場合、順次第二順位避難所として都立高校や区公共施設などを開設する予定です。しかし、避難所は住居ではないため、決して過ごしやすい環境ではございません。区といたしましてもご自宅が無事で安全確保ができれば在宅避難を推奨しております。在宅避難をしていても避難所で物資の支援を受けることはできますが、ご自宅におきましても最低三日、できれば1週間分の備蓄をしていただければと思います。</p>

<ul style="list-style-type: none"> もう少し細かい説明が欲しい。 	<p>(危機管理課より回答)</p> <p>震災復興まちづくり訓練は復興に焦点を置いた取組であることから、発災直後の防災対策や防災計画については概要のみご説明しております。</p> <p>地震に備えた対策や取り組みについては区ホームページでも情報発信しております。</p> <p>URL： https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1004028/1000063/1004029/index.html</p>
--	---

その他、意見、感想（訓練のすすめ方、進行スタッフへのコメント等）

ご意見	葛飾区の考え方
<ul style="list-style-type: none"> もう少し若い層が聞く対応を役所もしたらいいのではないかと思った。 	<p>訓練の開催にあたっては、対象地域の全戸にチラシを配布し周知を行っておりますが、より若い世代の方も参加しやすいよう、オンラインでの開催や講義の動画配信など、実施方法について検討してまいります。</p>